



野田市制施行七十五周年記念行事 野田から世界へ！ ティムラズ・レジャバ大使が 語る国際交流



ジョージア大使
ティムラズ・レジャバ閣下



講演会

下総之國津久太鼓にて大使をお迎えします。

ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。お車でお越しの方は、キッコーマン社員用の駐車場をご利用ください。なお、駐車場の台数には限りがあり、当日は100台のみ駐車可能です。駐車場の位置につきましては、裏面の案内図をご参照ください。自転車でお越しの方は、駐車場内の指示のある場所に停めてください。

お申し込みはこちらから

手話通訳・車椅子対応有り

問い合わせ先 080-8124-1381(みよし)



先着500名



入場無料
2025.10.11(土)

〔開演〕11:15 〔開場〕10:15

野田市興風会館

〒278-0037 千葉県野田市野田250

主催：野田市国際交流協会
協力：野田稲門会・

下総之國津久太鼓

後援：野田市・野田市教育委員会・野田商工会議所・浅野さく泉管工(株)・東京理科大学(野田キャンパス)・(株)ナカオサ・富国生命保険(相) 埼玉支社 野田(営)・

エコラボ(合)野田工場・敷島製パン パスコ利根工場・ヒカリ支援(株)・(公財)興風会

(順不同・敬称略)

賛助会員一覧は裏面に記載しておりますので、ご参照ください。



野田から世界へ！

ティムラズ・レジャバ大使が語る国際交流

ティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使 経歴

ティムラズ・レジャバ大使は1988年、ジョージアの首都トビリシに生まれました。1992年来日し、幼少期から日本と関わりを持ちながら育ちました。2008年から早稲田大学国際教養学部で学び、2011年に卒業。その後、野田市に本社を置くキッコーマン株式会社に入社し、海外営業やマーケティングに従事しました。

2015年以降はジョージアと日本間の貿易やビジネス活動に携わり、2018年にはジョージア外務省に入省。翌年駐日ジョージア大使館の臨時代理大使を務め、2021年11月には史上最年少で特命全権大使に任命されました。現在は日本に加え、太平洋島嶼国も兼任しています。

SNSでの情報発信でも親しみやすさと影響力を発揮し、2024年には茨城県の「いばらき大使」にも就任。国際感覚と日本での経験を生かし、ジョージアと日本の架け橋として活躍されています。

著書：

- ティムラズ・レジャバ、ダヴィド・ゴギナシュヴィリ共著、
『大使が語るジョージア—観光・歴史・文化・グルメ』、星海社新書、星海社、2023年1月
- ティムラズ・レジャバ、『ジョージア大使のつぶや記』、教育評論社、2024年3月
- ティムラズ・レジャバ、『日本再発見』、星海社新書、星海社、2024年4月



ジョージアという国

ジョージアはヨーロッパとアジアの交差点、南コーカサスに位置する国で、黒海に面し、ロシアやトルコなどと国境を接しています。面積は日本の四国と九州を合わせたほど、人口は約370万人で、首都はトビリシです。

古くからシルクロードの要衝として栄え、8,000年以上の歴史を持つワイン造りはユネスコ無形文化遺産にも登録されています。美しい教会建築やコーカサス山脈の雄大な自然も魅力です。近年は観光やIT産業などが注目され、日本とも文化や経済の交流が進む、歴史と多様性に富んだ国です。

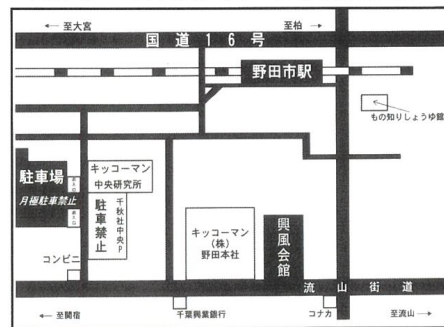
興風会館の歴史

興風会館は、1927年に野田醤油株式会社（現・キッコーマン株式会社）が地域社会の文化発展を目的に建設した歴史的建造物です。昭和初期の近代建築様式を今に伝える貴重な建物で、野田市のシンボルのひとつとして長年にわたり市民に親しまれています。現在もコンサートや講演会などの会場として利用され、歴史と文化が息づく交流の拠点となっています。

野田市国際交流協会の紹介

野田市国際交流協会は、日本人と外国人市民との相互理解や多文化共生を促進するために活動する市民団体です。外国人のための日本語教室、外国語講座や国際交流イベント、外国人市民への生活サポートなどを通じて、野田市を「世界とつながるまち」とするための橋渡し役を担っています。

【会場・当日臨時駐車場案内図】



賛助会員：キッコーマン国際食文化研究センター・野田東ロータリークラブ・東京理科大学(野田キャンパス)・山本建設工業(株)・敷島製パン パスコ利根工場・(株)ナカオサ・西武台千葉中学校・高等学校・ヒカリ支援(株)・富国生命保険(相) 埼玉支社 野田(営)・野田小型運送(株)・エコラボ(合)野田工場・浅野さく泉管工(株)・(公財)興風会・(株)あおば総合保険・前田良三 (順不同・敬称略)